



バッドンタ・ウ・ケサラ大長老
 “アビダジャマハーラッタグル”
 「正法によって国を導く偉大な師」
 ミャンマー政府より勳章授与
 ミャンマーサンガ団体の元副長
 ラインサーヤ マハーアウンミエ僧院僧院長



日本上座仏教修道会

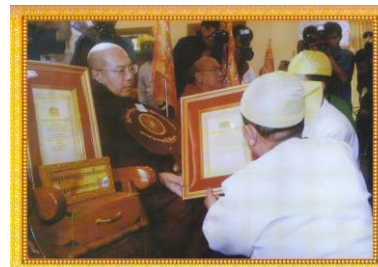
祝 浄心庵戒壇
 吉祥なる



・仏塔建立
 定礎記念

Sāsana Sirī Dhara Sīmā

お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇



バッドンタ・ウ・ニャーヌッタラ大長老
 “アッガマハーサダンマジョーテイカダジャ”
 「正法の光を世界に輝かせる最上の偉大な智慧者」
 ミャンマー政府より勳章授与
 ラインサーヤ マハーアウンミエ僧院副僧院長
 日本上座仏教修道会大長老

浄心庵シーマー（戒壇）建物・シェーダゴンパゴダ形仏塔建立 吉祥なる定礎記念

日本上座仏教修道会は、昨年2018年11月17日（土）～12月12日（水）の26日間、浄心庵シーマー（戒壇）において、大長老を大導師として、テラワダ仏教の伝統に則した「浄心庵シーマー（戒壇）建物・シェーダゴンパゴダ形仏塔建立、吉祥なる定礎儀式」をはじめ、「カテナ シーワラ ダーナのお祝い儀式」などの様々な儀式を荘厳に執り行い、ニャーヌッタラ大長老をはじめとする5名の比丘サンガによって、すべて成功裡に完遂いたしました。（それぞれの儀式については当会HPのトップページ「比丘サンガ26日間のご活動」をご覧ください）

浄心庵戒壇「Sāsana Sirī Dhara Sīmā（お釈迦さまの教えが伝わるために品位を保つ浄心庵戒壇）」は、ニャーヌッタラ大長老のお導きにより「9つの宝物」がめでたく定礎されました。

浄心庵戒壇の土地の上で行われたそれぞれの儀式において、比丘サンガの戒・定・慧のエネルギーをはじめとして、三宝を信じる人々のエネルギーにより、さらなる特別な土地、聖地となりました。尊い儀式に携わることができ、当会員有志をはじめ、関係する日本人、ミャンマー人の皆さまと共に、それぞれができるところから特別な功德、波羅蜜を積ませていただくことができました。

三宝をはじめ、この度の儀式のためにご尽力くださいました偉大なる大恩師ニャーヌッタラ大長老をはじめ、当会の招聘に応じてくださった3名のミャンマー比丘様、いつもミャンマー国から日本上座仏教修道会をはじめ日本国民へ大いなる慈悲で見守ってくださるケサラ大長老、そしてミャンマー国家顧問省副大臣 H.E.U Khin Maung Tin 閣下、駐日ミャンマー連邦共和国大使 H.E. U Thurein Thant Zin 閣下、駐日ミャンマー連邦共和国国防武官 H.E.U Soe Mint 大佐、株式会社入江三宅設計事務所（IMA）代表取締役 宮本良明様、同ヤンゴン事務所取締役 U Soe Win Tun 様、同計画・技術部 担当部長 坂本真一様、株式会社 A-1 建築事務所代表 荒井一美様、紹介者の沼田清衛様、はるばるミャンマー国から来日された皆さま、日本在住のミャンマー人信者の皆さま、儀式のための駐車場をご提供してくださった隣家の皆さま、そして日本上座仏教修道会会員、関係者の皆さまのあたたかいご支援とご協力に、心から深く感謝申し上げます。そして皆さまの尊い功德に心から随喜申し上げます。

この日本の地に、純粋なお釈迦さまの教えが永く存在するための「シーマー（戒壇）・仏塔建立」が実現することを確信して、信念を堅固に大長老のお導きのもと、三帰依と共に八正道（戒・定・慧）を真摯に実践しながら、日本上座仏教修道会会員一同は、正精進してまいります。

定礎儀式を大成功のうちに終え、浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」大プロジェクトが現実的なものになってまいりました。近い未来の完成を目指して、資金面も含め皆様のご支援、応援、引き続きよろしくお願い申し上げます。

「シーマー（戒壇）・仏塔建立」のための特別な功德としてお布施を希望される方は、次のページまたは、当会HPのトップページの浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」お布施のご案内をご参照ください。

Vihāra dānaṃ saṅghassa aggaṃ buddhena vaṇṇitaṃ

お釈迦さまの教えを伝える土地・建物を比丘サンガを目指して布施することは、
 最も高貴な功德として ブッダによって称賛されました

仏暦2563年 西暦2019年 令和元年 5月18日
 日本上座仏教修道会 代表 吉田 郁子



日本上座仏教修道会

浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」のお布施について

このような稀有な機会に、シーマー（戒壇）・仏塔建立のための特別な功德として、お布施を希望される方は、下記にお振り込みください。

◎三菱UFJ銀行

振込先：三菱UFJ銀行 新宿中央支店

口座番号：普通 4581036

口座名：一般社団法人 上座仏教修道会

※ 恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。

※ 領収証が必要な方は、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記して、ご郵送またはお電話でお知らせください。

◎ゆうちょ銀行口座

振込先：一般社団法人 上座仏教修道会

00100-9-484835

※ 振り込みの際は、お名前と住所を明記してください。

◎問い合わせ先 日本上座仏教修道会

住所：〒311-2112 茨城県鉾田市飯島 217-17

電話：0291-39-0220（受付 正午～午後8時）吉田まで

浄心庵「シーマー（戒壇）・仏塔建立」予定地



シーマー（戒壇）

「シーマー」とは、パーリの言葉で、日本語では、「戒壇（授具足戒の場）」と訳されています。比丘サンガが戒律の確認を行う聖なる特別な場所のことです。このシーマー（戒壇）が在れば、お釈迦さまの教えを伝える比丘サンガのための比丘出家儀式、新月・満月のウボサタの日に戒清浄になるための戒律の儀式、「カティナ・シーワラ」という特別な衣の儀式など、戒律に関する儀式を行うことができます。これらの儀式のために、このシーマー（戒壇）は必要とされます。

このように「シーマー（戒壇）」とは、比丘サンガが存在するために最も重要な場所であり、特別な聖地なのです。比丘サンガが存在すれば、お釈迦さまの教えを伝えることができます。

三宝、比丘サンガが存在するための「シーマー（戒壇）」についての功德は、輪廻解脱、涅槃に至るまで善い結果をもたらします。

仏塔建立 について

「仏塔」とは、お釈迦さまの仏舎利やお釈迦さまに関係がある物を奉安するとともに大切な「塔」です。浄心庵シーマー（戒壇）の土地の上に、平面 10.5×19mの2階建と屋上を建設いたします。1階は、比丘サンガの居室、瞑想者宿泊施設、多目的ホールとして、2階は、瞑想堂として浄心庵仏像が奉安され、その後部スペースには、三宝をはじめ上座仏教に関する博物館が設けられます。屋上は、中心部にミャンマー式シェーダゴンパゴダ形仏塔を大切に安置します。北側中央部は、日本式仏塔として三重塔を安置する予定です。この2つの仏塔は、ミャンマーと日本両国の仏教友好交流を深め合い、両国の幸福と世界平和への礎として、日本の地に純粋なお釈迦さまの教えが広く永く存在するための願いに由るものです。

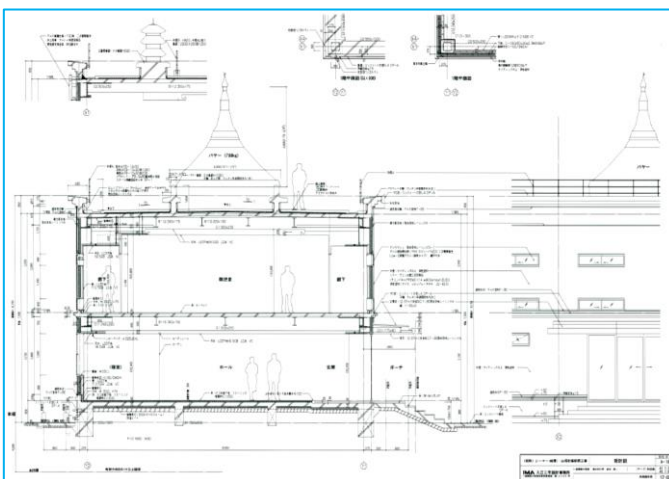
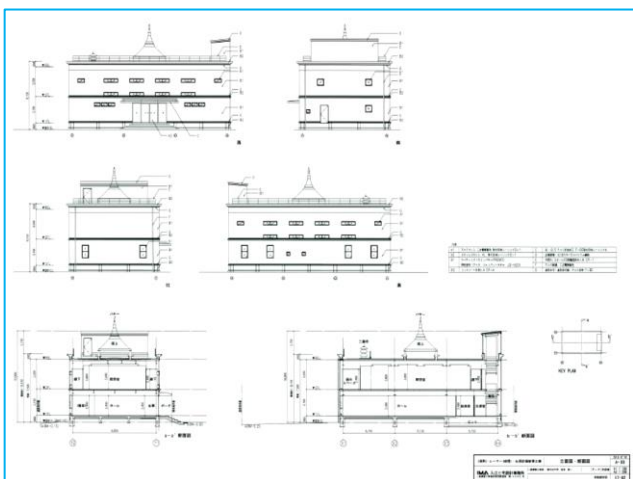
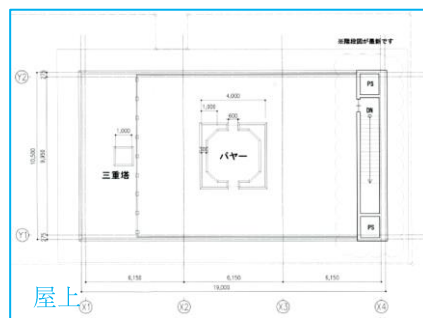
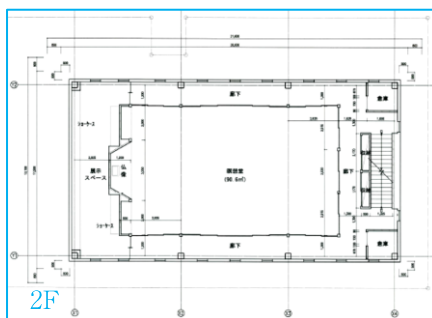
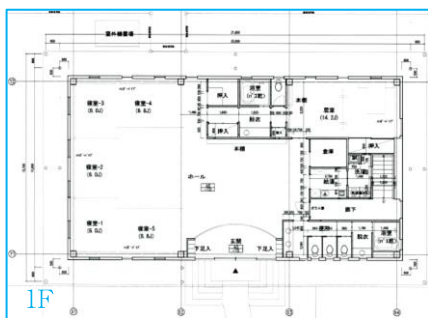
このような比丘サンガの戒・定・慧のエネルギーによって、特別な土地となったシーマー（戒壇）の上に仏塔を建てる機会を得ることは、日本では極めて稀なことであり、大変幸福なことでございます。この建物は、お釈迦さま、お釈迦さまの説かれた教え、そしてお釈迦さまの弟子である比丘サンガに関係がある特別な「シーマー（戒壇）・仏塔」なので、特別な功德、波羅蜜を積むことができます。今世、今現在も、来世、未来までも、必ず善い結果をもたらします。そして純粋なお釈迦さまの教えが永く存在することができます。

この建物の中で、お釈迦さまの教えを修道する見習出家、比丘出家、正学女、尼僧、男性瞑想者、女性瞑想者たちは、輪廻解脱、涅槃へ至る八正道（戒・定・慧）を実践することができます。ですから、この特別な「シーマー（戒壇）・仏塔建立」は、大变得難く特別な功德、波羅蜜なのです。



日本上座仏教修道会

シーマー (戒壇)・仏塔建立 大プロジェクト



株式会社入江三宅設計事務所 (IMA) 「シーマー (戒壇)・仏塔建立」設計図面 2019年平成31年1月現在